

令和3年4月1日
教育委員会だより

はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響を受けるようになってから、1年余りが過ぎました。令和2年度は臨時休校から始まり、5月下旬からの分散登校、6月からの通常授業と例年とは異なる新学期のスタートとなりました。

学校再開後も、運動会などの行事は規模を縮小して実施したり、修学旅行などの校外活動は延期や行き先を変更したりと、感染防止対策をしながらの学校運営となり、子どもたちにとっても負担が掛かりましたが、子どもたちの頑張りや各家庭のご協力により、日々の学習を進めていくことができました。

令和3年度も引き続き、子どもたちが安心して勉強や運動に励み、その知識や経験が深い学びへと結び付けられるよう、感染防止対策に取り組み、安全な教育環境づくりに努めてまいります。しかしながら、感染状況によっては行事や部活動などの急な予定変更や一定の制約のもとで行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

令和3年4月1日



タブレット型パソコンの整備

日々の学習活動を支え、「時代を切り拓く子ども」の育成を目指し、児童生徒1人1台タブレット型パソコンを整備しました。全中学校で昨年11月から、全小中学校で今年1月から授業等で活用しています。



タブレット型パソコンでは、授業支援系ソフト「ロイノート」や「Office365」、デジタルドリルソフト「eライブラリア

ドバンス」などを利用することができま

す。タブレット型パソコンは従来のノートや鉛筆と同じく、あくまで一つの道具・手段です。今年度も引き続き、この新しい道具を積極的に使って情報活用能力を身につけ、情報モラルを育成しつつ、より主体的で深い学びを実践していきま

す。なお、当面は、校内での活用実績を蓄積しつつ、新型コロナウイルス感染症による臨時休校等が発生した場合に備え、ICT教育のバイオニア校（味岡小・大城小、味岡中・光ヶ丘中）を中心に、家庭へのタブレット型パソコンの持ち帰りを含め、家庭学習への活用について検証していきます。

「小牧市中央図書館」開館

小牧市中央図書館は、市民や地域を支える知の拠点として令和3年3月27日に名鉄小牧駅の西側に開館しました。

新しい中央図書館は、主に1階に児童図書、2階にティーンズ図書、3・4階に一般図書を配置しています。1階には、映画会や講演・展示など行うことができるイベントスペースもあります。

また、全館に無料WiFi環境を整えたほか、タブレット端末、CD・DVD機器、電子書籍の貸出を行うなど、時代のニーズに応じた魅力あるサービスを拡充しました。



さらに、館内には静かに学習や研究ができる席、話し合いができるグループ席、吹き抜けに面した1人掛けの席など多種多様な席が合計約600席あるほか、屋外には、緑に囲まれたテラス席もありますので、自分のお気に入りの場所を選ぶことができます。

中央図書館の開館時間は午前9時から、1階のエントランスエリアは午前8時から、午後9時まで開館しています。隣接するラピオビルには「こまきこども未来館」もありますので、新しく生まれ変わった中央図書館へ是非お越しください。

オーケストラの演奏で
みんなを元気に!

普段なかなか聴くことのできないプロオーケストラの演奏に親しんでもらおうと、市内の小中学校を対象に、中部フィルハーモニー交響楽団による演奏鑑賞事業を行っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら小学校対象の演奏は中止となり、その代替として、中部フィルハーモニー交響楽団による「観る人がみんな元気になるオーケストラ演奏」の映像配信を行い、また中学校への出張演奏をコロナ対策を講じて行いました。



(今回配信した映像は、小牧市ホームページからもご覧いただけます。)

けます。)

令和3年度も引き続き、こどもたちが音楽文化に親しみ、心豊かな人間性を育む機会になるよう、事業を実施してまいります。

一流アーティストが学校へ!

教育委員会とこまき市民文化財団が協力し、こどもたちに一流のアーティストと直接交流できる機会を提供するため、アウトリーチ事業を実施しています。令和2年度は、落語と音楽のプログラムを小中学校で実施しました。

音楽のアウトリーチ事業を体験したこどもからは「初めて生でプロの演奏を聴いてとても心に残った」という声が、落語の



アウトリーチ事業を見学した先生からは「暗いニュースも多いなか、こどもたちがお腹を抱えて笑う貴重な時間だった」という言葉が聞かれました。令和3年度も引き続きアウトリーチ事業を実施し、多くのこどもたちが文化・芸術に触れる喜びを感じることができるよう、努めてまいります。

通学路の安全対策

登下校中の児童生徒を交通事故から守るため、引き続き通学路標識の設置や、通学路にみどり色のカラー塗装を行うなどこどもたちが安心して通学できる環境整備に努めていきます。また、「小牧市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者や警察、学校と教育委員会が連携し、通学路における交通安全の確保に向けた取り組みを推進します。

通学路パトロールボランティア
にご理解とご協力を

現在、保護者や地域の方々を始めとする約820名のボランティアに、児童の登下校時刻を中心に通学路のパトロールや見

童の見守りをしていただいております。この活動にご協力いただける方は、最寄りの小学校へ是非お問い合わせください。今後も児童生徒の登下校の安全確保にご協力をお願いいたします。

自転車損害賠償保険に
加入しましょう

児童生徒の行動範囲は成長とともに広くなり、自転車に乗って出かける機会も増えていきます。自転車の利用中に歩行者等にけがを負わせ、事故の加害者となった場合、高額な賠償が発生する可能性があります。

自転車保険には、自転車保険単体のもの、自転車の整備費用とあわせたもの、自動車保険や火災保険の特約として付帯しているものなどがあり、その適用される範囲も、相手のけがの状況で限定されるものや自分のけがにも適用されるものなど様々です。

万が一の事態に備えるため、今一度、ご家庭で加入されている保険の状況を確認していただき、自転車保険への加入についてご検討ください。



キミと一緒に、育ってきたい。
Komaki

発行/小牧市教育委員会

〒485-8650 小牧市堀の内三丁目1番地

編集/教育総務課

TEL:0568-76-1164 FAX:0568-75-8283

E-mail アドレス:kysoumu@city.komaki.lg.jp